

## 1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。令和7年2月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り。

### でん粉の需給見通し

#### 【令和5でん粉年度（実績）】

需要量：238万7000トン（前年度比2.8%減）

供給量：239万4000トン（同2.8%減）

#### 【令和6でん粉年度（見通し）】

需要量：242万トン（同1.4%増）

供給量：243万1000トン（同1.5%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		令和4でん粉年度 （実績）	令和5でん粉年度 （実績）			令和6でん粉年度 （見通し）		
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計
需要	糖化製品	1,664	764	880	1,644	775	891	1,666
	化工でん粉	258	114	121	235	114	123	237
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	533	249	259	508	257	259	517
	合計	2,455			2,387			2,420
供給	前年度繰り越し	21			8			7
	国産いもでん粉（生産量）	170	162	—	162	167	—	167
	かんしょでん粉	15	11	—	11	10	—	10
	ばれいしょでん粉	155	151	—	151	157	—	157
	調整金 徴収 対象							
	コーンスターチ	2,116	964	1,100	2,064	986	1,101	2,088
	輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	132	68	67	135	69	74	142
	輸入でん粉（その他用）	10	6	5	10	5	7	13
	小麦でん粉	14	7	7	14	7	7	14
	合計	2,463			2,394			2,431
次年度繰り越し		8			7			11

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		令和6年10月～令和7年3月 (見込み)			令和7年4月～9月 (見通し)			令和6でん粉年度計			
		かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計	
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	2	13	15	2	9	11	4	22	26
		化工でん粉	1	11	12	0	14	14	1	25	26
		その他	3	21	24	2	23	25	5	44	49
		小計	7	45	51	4	46	50	10	91	101
	その他の用途	0	28	28	0	33	33	0	62	62	
	計	7	73	80	4	80	83	10	153	163	
供給	前期からの繰り越し	3	4	7	7	88	95	3	4	7	
	生産量	10	157	167	0	0	0	10	157	167	
	計	13	161	175	7	88	95	13	161	175	
次期への繰り越し		7	88	95	3	8	11	3	8	11	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

### (1) でん粉の需要量の見通し

用途ごとのでん粉の需要量の見通しは以下の通り。

#### 【糖化用向けでん粉の需要量】

令和5でん粉年度は、前年度からわずかに減少

令和5でん粉年度は、酒税法改正に伴う発泡酒の需要の減少により、前年度を2万トン下回る164万4000トンとなった。

6でん粉年度は、外出機会の増加やインバウンド需要の増加に伴い土産需要などの増加が見込まれることから、前年度を2万2000トン上回る166万6000トンと見通している。

#### 【化工でん粉用向けでん粉の需要量】

令和5でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少

令和5でん粉年度は、製紙向け需要の減少により、前年度を2万3000トン下回る23万5000トンとなった。

6でん粉年度は、好調な外食需要を背景とした業務用加工食品などの需要増が見込まれることから、前年度を2000トン上回る23万7000トンと見通している。

#### 【その他用途向けでん粉の需要量】

令和5でん粉年度は、前年度からやや減少

令和5でん粉年度は、主に製紙向け需要の減少により、前年度を2万5000トン下回る50万8000トンとなった。

6でん粉年度は、菓子やビールなどの需要増が見込まれることから、前年度を9000トン上回る51万7000トンと見通している。

### (2) でん粉の供給量の見通し

各種でん粉の供給量の見通しは以下の通り。

#### 【かんしょでん粉の生産量】

令和5でん粉年度は、前年度から大幅に減少

令和5年産でん粉原料かんしょの生産量は、産地でのサツマイモ<sup>もとぐされ</sup>基腐病の発生面積が減少したもの

の、他用途向けとの原料の競合の影響により、かんしょでん粉の生産量は、前年度を4000トン下回る1万1000トンとなった。

6年産については、前年度と同様に、他用途向けとの原料の競合の影響により、かんしょでん粉の生産量は前年度を1000トン下回る1万トンと見通している。

### 【ばれいしょでん粉の生産量】 令和5でん粉年度は、前年度からわずかに減少

令和5年産でん粉原料ばれいしょの生産量は、8月中旬以降の酷暑によるでん粉含有率の低下が生じたため、ばれいしょでん粉の生産量は前年を4000トン下回る15万1000トンとなった。

6年産については、8月中旬以降の気温が下がったため、原料用ばれいしょのでん粉含有率が回復したことから、ばれいしょでん粉の生産量は前年度を6000トン上回る15万7000トンと見通している。

### 【コーンスターチの供給量】 令和5でん粉年度は、前年度からわずかに減少

令和5年度は、酒税法改正に伴う発泡酒の需要の減少や製紙向け需要の減少により、5でん粉年度の供給量はでん粉ベースで前年度を5万2000トン下回る206万4000トンとなった。

6年度は、外出機会の増加やインバウンド需要の増加に伴う土産需要などの増加や、ビール需要の増加が見込まれることから、前年度を2万4000トン上回る208万8000トンと見通している。

### 【輸入でん粉の供給量】（糖化製品、化工でん粉用） 令和5でん粉年度は、わずかに増加

令和5でん粉年度は、国産いもでん粉の供給量の

減少の影響などにより、前年度を3000トン上回る13万5000トンとなった。

6でん粉年度は、糖化製品、化工でん粉の需要増などにより、前年度を7000トン上回る14万2000トンと見通している。

### 【輸入でん粉の供給量】（その他用） 令和5でん粉年度は、前年度並み

令和5でん粉年度は、業務用加工食品向けなどとして供給されており、前年度と変わらず1万トンとなった。

6でん粉年度は、業務用加工食品向け需要の増加が見込まれることから、前年度を3000トン上回る1万3000トンと見通している。

### 【小麦でん粉の供給量】 令和5でん粉年度は、前年度並み

小麦でん粉は、主に畜水産練製品向けとして供給されており、令和5でん粉年度は近年の需要に応じた製造がされるものとして、前年度並みの1万4000トンとなった。

6でん粉年度についても、同程度の供給がなされるものとして、前年度同の1万4000トンと見通している。

## 2 輸入動向

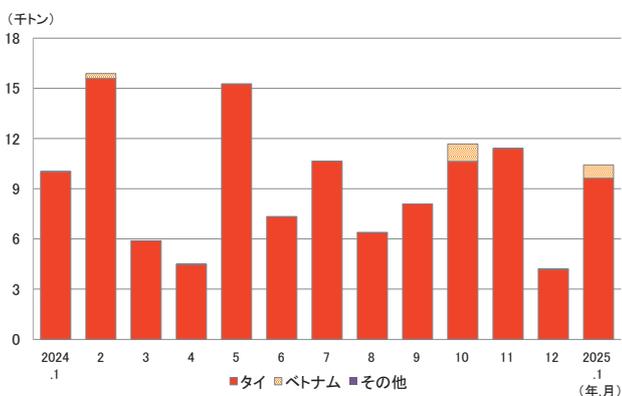
### 【タピオカでん粉の輸入動向】 1月の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2025年1月のタピオカでん粉の輸入量は、1万428トン（前年同月比3.9%増、前月比2.5倍）と、前年同月からやや増加した（図1）。

輸入先はタイ、ベトナム、台湾およびオーストラリアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

タイ 9622トン  
 (前年同月比3.9%減、前月比2.3倍)  
 ベトナム 799トン  
 (同183.3倍、同65.6倍)  
 台湾 7トン  
 (同51.3%減、同42.1%減)  
 オーストリア 0.3トン  
 (前年同月および前月輸入実績なし)

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



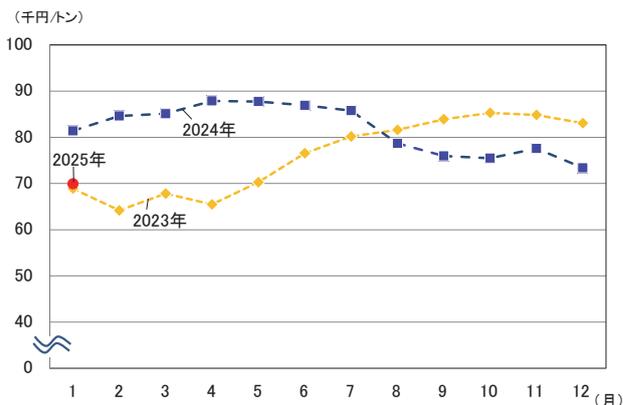
資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2025年1月の1トン当たりの輸入価格は、6万9917円(前年同月比14.1%安、前月比4.7%安)と、前年同月をかなり大きく下回った(図2)。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 6万9724円  
 (前年同月比13.7%安、前月比2.6%安)  
 ベトナム 6万7574円  
 (同74.3%安、同72.8%安)  
 台湾 54万7997円  
 (同19.7%高、同4.7%高)  
 オーストリア 102万6667円  
 (前年同月および前月輸入実績なし)

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

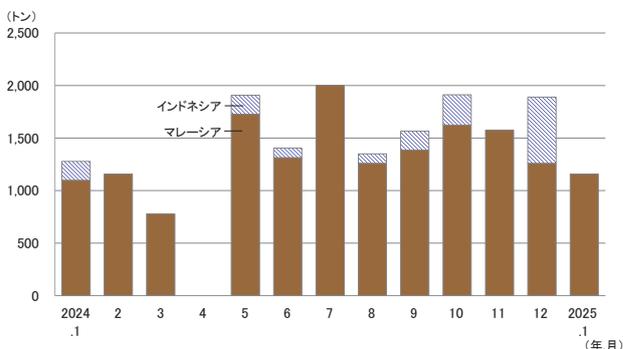
1月の輸入量は前年同月からかなりの程度減少

財務省「貿易統計」によると、2025年1月の輸入量は、1157トン(前年同月比9.5%減、前月比38.8%減)と、前年同月からかなりの程度減少した(図3)。

輸入先はマレーシアのみで、輸入量は次の通りであった。

マレーシア 1157トン  
 (前年同月比5.4%増、前月比8.2%減)

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



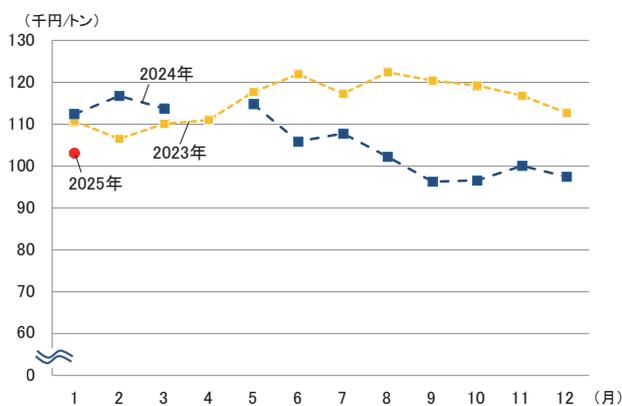
資料：財務省「貿易統計」  
 注1：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019  
 注2：2024年4月は輸入実績なし。

2025年1月の1トン当たりの輸入価格は、10万3047円(前年同月比8.3%安、前月比5.8%高)と、前年同月をかなりの程度下回った(図4)。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 10万3047円  
(前年同月比9.4%安、前月比3.2%高)

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注1：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

注2：2024年4月は輸入実績なし。

## 【ばれいしょでん粉の輸入動向】

### 1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

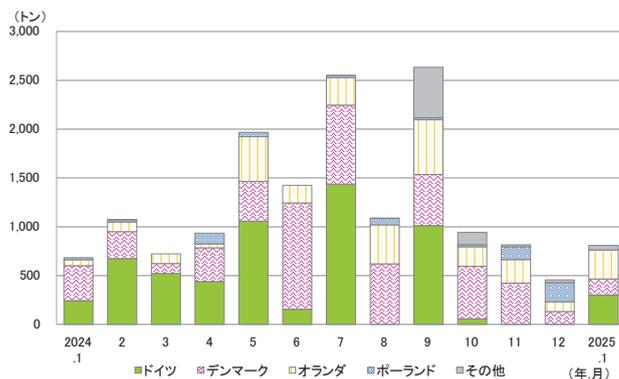
財務省「貿易統計」によると、2025年1月のばれいしょでん粉の輸入量は810トン(前年同月比18.6%増、前月比77.3%増)と、前年同月から大幅に増加した(図5)。

輸入先はドイツ、オランダ、デンマーク、中国およびスウェーデンで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

ドイツ 299トン  
(前年同月比23.5%増、前月輸入実績なし)  
オランダ 298トン  
(同5.0倍、前月比3.0倍)  
デンマーク 166トン  
(同53.9%減、同25.8%増)

中国 27トン  
(前年同月および前月輸入実績なし)  
スウェーデン 20トン  
(前年同月輸入実績なし、前月同)

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

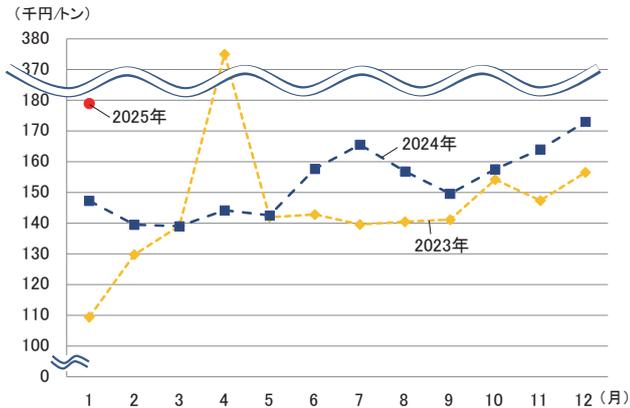
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2025年1月の1トン当たりの輸入価格は、17万8940円(前年同月比21.5%高、前月比3.4%高)と、前年同月を大幅に上回った(図6)。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

ドイツ 18万3694円  
(前年同月比27.1%高、前月輸入実績なし)  
オランダ 18万5644円  
(同47.7%高、前月比2.1%高)  
デンマーク 16万5675円  
(同8.5%高、同2.2%高)  
中国 14万2333円  
(前年同月および前月輸入実績なし)  
スウェーデン 16万7500円  
(前年同月輸入実績なし、前月比15.9%高)

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

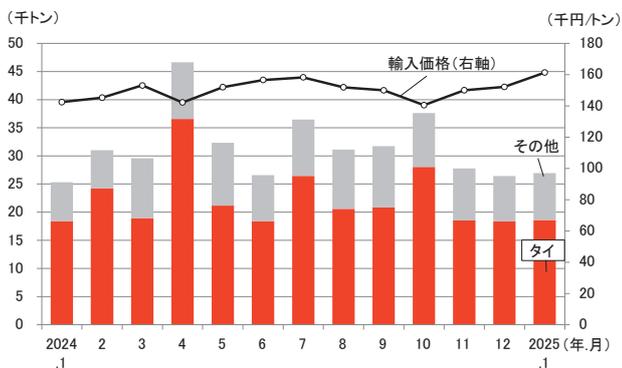
【でん粉誘導体の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2025年1月のでん粉誘導体の輸入量は、2万6944トン（前年同月比6.4%増、前月比1.9%増）と、前年同月からかなりの程度増加した（図7）。

2025年1月の1トン当たりの輸入価格は、16万1289円（前年同月比13.3%高、前月比6.0%高）と、前年同月をかなり大きく上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-100

でん粉誘導体の輸入先は18カ国・地域で、最大の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量

は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、デンマークとなっている（表3）。

表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量（1月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	26,944	100.0%
うち タイ	18,609	69.1%
ベトナム	2,463	9.1%
デンマーク	1,277	4.7%
フランス	959	3.6%
中国	766	2.8%
スウェーデン	716	2.7%

資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

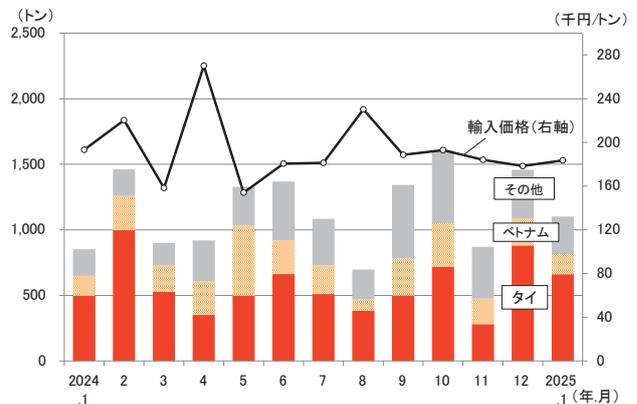
1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2025年1月のデキストリンの輸入量は、1102トン（前年同月比29.2%増、前月比24.4%減）と、前年同月から大幅に増加した（図8）。

デキストリンの輸入先は10カ国・地域で、輸入量は上位輸入先の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

2025年1月の1トン当たりの輸入価格は、18万3527円（前年同月比5.0%安、前月比2.9%高）と、前年同月をやや下回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、タイおよびベトナムで輸入量の7割半を占めている（表4）。

表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量（1月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	1,102	100.0%
うち タイ	662	60.1%
ベトナム	154	14.0%
中国	127	11.5%
米国	55	5.0%
ドイツ	40	3.6%
フランス	25	2.3%

資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

### 【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】 1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2025年1月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、21万491トン（前年同月比68.6%増、前月比0.3%減）となり、前年同月から大幅に増加した（図9）。

輸入先は、米国およびブラジルで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

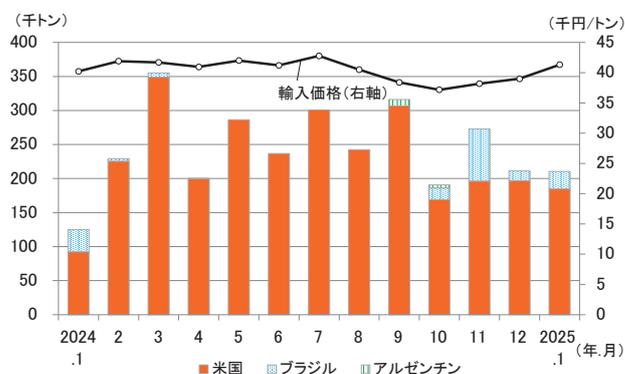
米国 18万4810トン  
（前年同月比99.8%増、前月比6.2%減）  
ブラジル 2万5681トン  
（同20.6%減、同80.9%増）

2025年1月の1トン当たりの輸入価格は、4万1320円（前年同月比2.7%高、前月比6.0%高）と、前年同月をわずかに上回った。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 4万1564円  
（前年同月比1.5%高、前月比6.2%高）  
ブラジル 3万9570円  
（同3.7%高、同7.0%高）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1005.90-091